

～モンゴル人絵本作家による～

『モンゴル大草原800年』

原画展



『モンゴル大草原800年』(福音館書店)より部分

夏のモンぱく

2023年8月24日(木)～10月31日(火)

午前9時半～午後5時(但し入館は午後4時半まで)

休館日:水曜日(但し 祝日の場合はその翌日)

入館料:一般 500円・高大生 300円・小中生 250円

※身体障がい者手帳等をお持ちの方は半額

※県内の小中学生はコロナカード提示で無料

後援:朝日新聞社豊岡支局・神戸新聞社・産経新聞社神戸総局・毎日新聞豊岡支局・

読売新聞豊岡支局・新日本海新聞社・一般財団法人 兵庫県学校厚生会・

FMジャングル76.4MHz・但東シルクロード観光協会

協力:福音館書店



豊岡市立 日本・モンゴル民族博物館



公式H・P



Facebook



Instagram



モンゴル人は馬上で育つ
馬のいない人生は、つばさのない鳥のよう
チンギス・ハンが、モンゴル帝国をつくりあげてから、
800年のさい月が流れました。
モンゴルの人びとはうれいときも、
かなしいときも、馬とともに生きてきました。

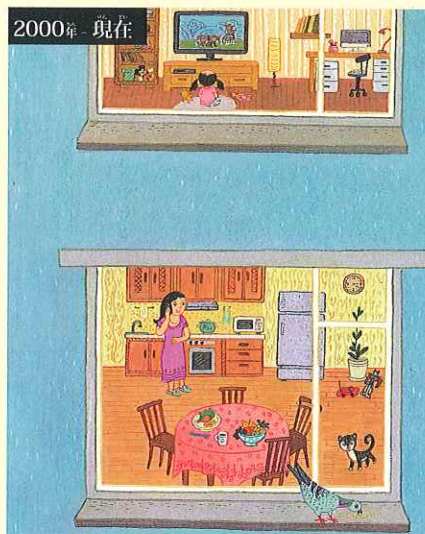
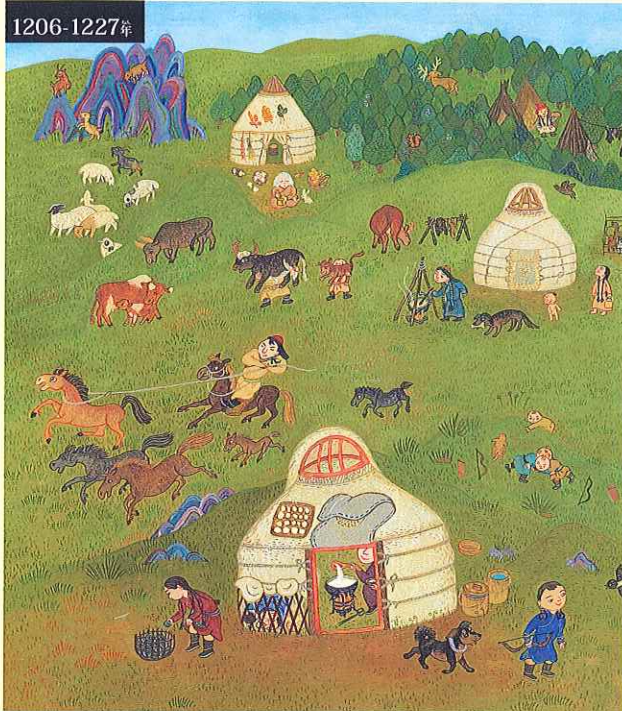
～モンゴル人絵本作家による～ 『モンゴル大草原800年』 原画展

ガンバートル、ボロルマー夫妻は、モンゴルの自然や文化を素材とした絵本を日本で多数出版している作家です。

本展は、チンギス・ハンがモンゴル帝国の王となる1206年ごろから現代まで、800年にわたるモンゴルのくらしや風習を、色鮮やかで緻密に描いた絵本『モンゴル大草原800年』の原画で紹介いたします。

また2022年には、日本・モンゴル外交関係樹立50周年を記念した展覧会が開かれ、そこで紹介されたモンゴルと日本をテーマにした絵をもとに描かれた、当館オリジナルバージョンの水彩画もあわせて披露します。

これまで日本とモンゴル
両国の間に築かれてきた
友好関係が、末永く続きます
ようお願いしてやみません。



パーサンスレン・ボロルマー(絵)
イチンノロブ・ガンバートル(文)

日本を拠点に共同で絵本を創作している夫婦。ともにモンゴル文化芸術大学卒、日本の文教大学で絵本を学ぶ。日本の野間国際絵本原画コンクールグランプリ、イタリアのポローニャ国際絵本原画展入選(ボロルマー)、『モンゴル大草原800年』(福音館書店)『らくだのおやこ』(福音館書店)など30冊余りの本・紙芝居を日本、モンゴル、中国、台湾、韓国、フランス、スウェーデン、デンマーク、カナダ、ベネズエラで出版。『トヤのひっこし』(福音館書店)は、厚生労働省社会保障審議会による特別推薦児童福祉文化財に選出された。

夏休みワークショップ

夏のモンぱく

関連ワークショップ

革を使ってキーホルダーをつくろう

7月16日(日) 午後1時半～
●参加費:1000円 ●定員:10名 ●締め切りは7月15日(土)

葉っぱ切り絵をつくろう

7月17日(月)、7月30日(日) 午後1時半～
●参加費:1000円 ●定員:10名 ●締め切りは各回実施前日まで

～身近に咲く季節の花を感じて～ハーバリウム教室

7月22日(土)、8月5日(土) 午前10時半～
●参加費:1000円・2000円 ●定員:5名 ●締め切りは各回実施前日まで

モンゴルの「五家畜」ヤギを描いてみよう

8月11日(金) 午後1時半～
●参加費:500円 ●定員:20名 ●締め切りは8月8日(火)
●講師:入江 花(京都芸術大学 キャラクターデザイン学科 マンガコース)

♡♡五感で楽しむ・モンゴルふれあいワークショップ♡♡

ガンバートル&ボロルマー夫妻と
モンゴルの遊び(シャガイ競馬ゲーム)や
モンゴル語での絵本読み聞かせ・モンゴル語の自己紹介&
飲み物(チャツアルガン)とモンゴル菓子も味わうワークショップ

10月7日(土) 午後1時半～

10月8日(日) 午前10時～

●参加費:1000円 ●定員:各回20名

●講師:パーサンスレン・ボロルマー(絵)
イチンノロブ・ガンバートル(文)
津田紀子(訳)



豊岡市立 日本・モンゴル民族博物館

〒668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山711
TEL.0796-56-1000 / FAX.0796-56-1022
http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/
monpaku@city.toyooka.lg.jp

Toyooka
Art
Season
2023



みらい応援
対象事業

参加事業

